

来たれ、棍棒、催涙弾、鉄格子よ、いくらでも来たれ、おまえがあの大開直言の血の叫びをさえさるるというのか

来たれ、兄弟、にじられし若者よ、この燦爛たる炎の広場に來たれ、溜息を捨て、恐れを捨て卑屈な笑いをみんな投げ捨て、ただひとすじに爆弾の憤怒となつて來たれ、その日の炎になつて、來たれ



血まみれの金曜日

血まみれの金曜日

1978年9月8日金曜日、数万のイラン人民はパーレビ打倒を訴えテヘラン市内のジャーレ広場に集った。前年の11月に端を発し次第に数を増す闘いの勢いを恐れたパーレビは直屬の「不滅の部隊」を派遣し、集会を包囲した。そして包囲した軍隊は突如発砲を開始し、逃げまどう人民は次から次へと凶弾ににおれていった。広場から脱出した人達も街角で包囲され殺されていった。死者は5000名を数えた。遺体はトラックで運ばれ数ヶ所に埋められ、

血まみれになった街角には消防車が出動し血が洗い流された。

しかし、この大虐殺は逆に人民の怒りを煽っただけに終わり、この日を境にイラン人民はパーレビとの妥協や幻想をかなり捨てた。革命後、ジャーレ広場は「犠牲者の広場」と名付けられ、この日は「犠牲者の日」として、イラン人民が犠牲者をとむらう日となっている。

上の写真は血まみれの金曜日の大虐殺の写真であり、現存する唯一の証拠写真である。

火焰——

明るみに出てきたし、運動上の譲りもよからずやくわがかりかけてきた。しかしここへふたばりがきかない。世の中の仕組み、人々との関係でこそぞという大げな時にきまつて来い小きな、それこそだめつていう事
が情けなすぎる。

全国の關仲間の皆さん、おめでとうございます。諸青諸兄姉には、さきさまに聞いて新年を迎えられましたことと存じます。この数年、情勢の動きの激しさは、諸親類の又主体の見かけ、メツキを一枚一枚がしていいきました。そこに驚きと呆然と怒りとして激然たる眼則を凝してきました。

もうはがれるべきメツキはありません。本性を表わすのみです。「おまえは何だ」に正面きつて答えねばならない時になってしまつたと思ひています。

最近私は、羽張明作遺作を讀んでいます。その中の湖南留學運動の現象報告の中にある「わゆる『ゆきすき』の問題」に、大驚きさせられました。「すばらしい」と思ふか「むちゃくちゃだ」と思ふか「ゆきすきだ」と思ふか、正に暗黒留學運動の根本問題であり、問われる時期にたつたと思ひています。

そして「あやまりをなすに必要ならなければならず、罪をなさなければ、あやまりはたせられない」ということに、ふつとためいさをついています。

しかし何事もまづきりするのではありません。私もはつきりした結果、認識したといふことのないよう、がんばります。

(婦)

どんなにまいといわれる私たちも再婚しようとした。と揺り動いた一九七九年だった。

イラン革命の及ぼした世界的な影響と、暴露された帝國主義支配體の動搖を目をみはるばかりだった。

革命を急ぐ二十五年、日本資本主義の過度成長のなか

「グランド・ソールの一九六〇年である。」
(青Ⅱ)
引用というのはあまり好きでない。まして自分の條、心算などを偉い人の言葉に託して真正面から語るなどという事は躊躇すべきところもいけな。

しかし、これは新しい年の出発でもあるし少しあらたまって見た。

「環境、あるいは周囲の状況を變えること、自己を變えることとは、革命因實踐において一致する」
ドイチュ・イデオロギイに述べられた、マルクスの思想の核心であると思ふ。それは、自然との關係に於て、自己の手足、耳、目、口など、五体を動かして、自然に働きかけ、環境をかえるなかで、又自己の頭腦や五体の機能をも發展させてきた、人間の歴史についての深い考察から生れたものだと思う。それは又、自然との關係だけでなく、われわれの社会生活、経済生活の變遷と自己變革が實踐によつて一致することをのべたものである。火種びんを指差しては思ふ。われわれの間にあまりにも自己の思いや、心算などにとらわれて觀念的に自思することが多くないだろうか。

(烈)

平岡 一郎

にやうき用をなすにめくまいた

は國家が、帝國主義の矛盾を緩和するものとしてあった地位から、逆に帝國主義の動向を規制する側に立った事、その政治的條件の變化を、政治が經濟に逆作用するその力を輕く見ているところに大きな誤算がある。わが國の政府、財界、評論家などにはとくにその傾向が強い。そのため、政治的事件が表面化した場合のショックがさげられないのである。

日本の特質

世界的な政治經濟の激動の中で、日本も又その嵐から逃れることが出来ないのだが、その際、とくに日本のおかれている經濟的條件の特質が、又それについての日本の支配階級、あるいは日本人全体の事態の認識、対応の仕方などからくる特質のいくつかを正確におさえておくことも必要である。なぜなら日本をとりまき經濟的、政治的諸條件の根本的變化は、すでに早く、七〇年代の始めから、

えん罪はらそうと訴えるデモを制止する人民解放軍

【写真右】事故をおこしたスリーマイルアイランド原発のコントロールパネル

三井書房 東京都千代田区神田駿河台2の9、電話03-291-3131〜3

80年代の右傾化とはなにか
戦後日本国家の転機
中村丈夫
国家資本主義的組織化の
全世界的破綻 岩田 弘
戦後史のなかの階級意識
内山 節
民同運動の軌跡 杉山 良
80年代治安体制の構造
中北龍太郎
操作と強制の構図 玉川洋次
戸村委員長の遺志を
どう受けつぐか 石橋政次
朴大統領の死 李 承玉
戒厳令下の三カ国を歩いて
丸山友岐子
書評 富村順一・原田金一郎
運動情報 北沢正雄 山中幸男
北川明 井上澄夫 白石顯二

為に思想闘争の強化を


＜最終回＞

合理的に「合理化」している。個別問題の大合理論のこのようにして、この問題を解決する。――

（筆者は戦後労働運動から共産

あぶら

韓国のバス車掌たちの話

<最終回>

合理的に「合理化」している。個別問題の大合理論の「大合理化」をいさかしくして、問題を解いた後、環境を一掃する。

（筆者は戦後半働運動から共産

あぶら

韓国のバス車掌たちの話

<最終回>

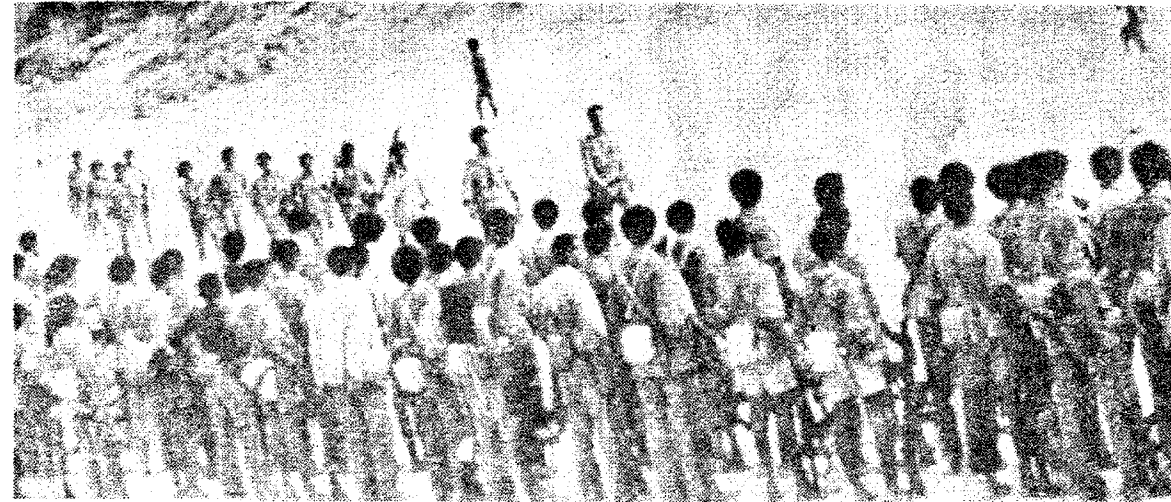


戒厳令で釜山市庁舎前に出動した戦車

三 月米、ボリビアのチ
ャドでフランス・カイ
ライ政権に対して武装闘争をつづ
けてきた民族解放戦線(FRE)は、
トは、カイライ政権を打倒、権力
を握った(写真右下)。七月二十
日、中米の小国ニカラガで激し
い武装闘争の末、サンジンに下
戦線(FRE)が、毛手組戦
権を打倒、権力を握った(写真
右)。昨年ソ連軍、キューバ軍の援
をうけたエチオピア軍事独裁政
の攻撃によって後退を余儀なくさ
れたエリトリア解放軍は、アラブ
諸国の支援を受けて攻撃に転じた
(写真下)。農民を組織し、後方
を固めたエリトリア革命は新しい
段階に入った。世界不況の大波を
かぶった韓国では国際収支の赤字
とインフレから失業の大軍が発
生、労働争議が激発するなかで十
月十六日釜山に暴動が発生。直ち
に戒厳令をしき軍隊で制した



7月20日マナグアの都心に消防車でのりつたニカラガ協定政府五人委員のメンバー



近代的な兵器で武装した軍隊に成長したエリトリア解放軍



チャド民族解放軍の戦士たち

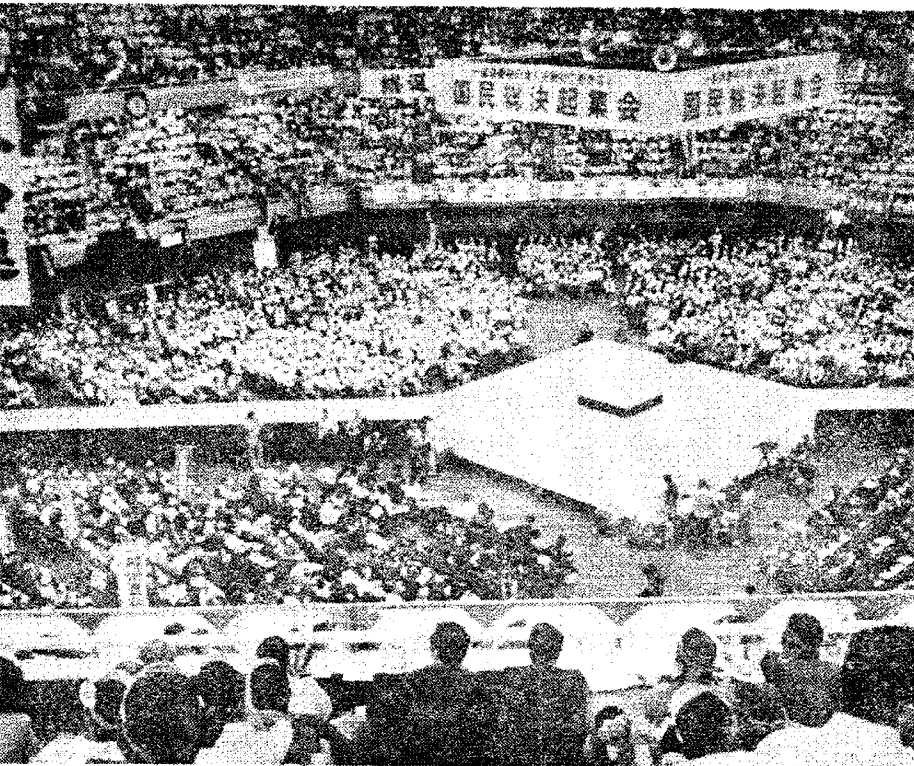


11月11日、三里塚で行なわれた戸村委員長追悼集会

—— 昨年暮れの自民党総裁 選挙で、大方の予想を 超えて福田首相が、大村の伝統的な保守層が、大平に賭け 平が当選した。福田の自派立派に、たのしみ、不況による生活の悪化を 対して大平は総合安全保障を、何となくいふとめることができ 張、中国を加えた太平洋経済圏を、ではないかと期待された。 序を推進する力、大平政権、軍需、首相になった大平は財政危機 による不況打撃よりも民需に求め、消費の第一、消費税増徴への半 大企業資本、中堅企業の果敢な投資、ヤンベーンを助産婦に始めた。 用したことは、いまでもないが、これに対して、一般消費税反対運動、 百五十万党員が参加した初の総裁 選で、自派立派の候補が選ば 追悼で開かれた総決起集会には、 れた意味は大きい。



7月11日、大阪府泉南市Cおこなわれた関西新空港反対集



一般消費税反対の国民総決起集会(10月2日、東京・日本武道館)



皆が楽しんだ釜ヶ崎の夏祭(大阪・8月12日)

被占領地で抵抗組織

た。にもかかわらず、存在している真の組合を防衛し強化して行くべく労働者連の努力が休まなく継続された。この地域には、三百九十二名の組合員からなり、GFTUの賛助会員であるエルサレム電気会社の労働組合が結成されていたのである。また、印刷工の組合もあった。その他にも、レストラン、

逸したサタ☆☆世界の出来ごと、ほか
レイバー・フォーカス・オン・イースタン・ユ
アラップ（英文）東欧から連における社会主義者を防衛する
ブレティン、一九七九年九月・十月号
☆流れをくめるアラック裁判☆チエコスロバキア、VONNS
の監獄からのレポート☆ポーランド、労働者権利憲章をめぐつ
て☆東ドイツ、ルドルフ・パリクがアムネスティイの力で解放
☆ノ連邦、労組の権利のための闘いはつづく、ほか
資料のコピー御希望の方は実費で送ります。代金はコピー送

しかし、指導者達は、こうしたシオニストの攻撃に屈せず随々々々大きな役割を果たし、闘いを継続してゐる。

GFTUは、毎年メーデーに民族的人間的に、デモ、記念行事、絵画や手工藝品の展示会を行い、夜が未だ明るいところからメーデ

被占領地經濟

シオニストのイスラエルパンク及びガザ地域の占領は、アラブの土地を取り上げユダヤ人入植地をどんどん増やすことによって、そして、パレスチナの勤労大衆を服従させ彼らを賃金奴隷へとかえることによって、パレスチナ労働者階級を非常に暗い状況へと追い込んだ。このシオニストの政策は、具体的に被占領地の経済をシオニストの経済に結びつけ、その結果被占領地の経済に打撃を与え、江潮させるものであった。このことは次の様な現象のなかにもまた如実に明らかである。わが人民は高物価と重税による窮乏を強いられ、何十人も農民が非熟練労働力としてシオニストの労働市場へ送り込まれ、一方熟練労働者やインテリゲンチヤは難民生活を強いられ、加えて、シオニストの民族差別、抑圧政策により、パレスチナ人労働者には、全く國の法的保護、医療、社会保障も保証されていないのである。しかし、こうした非人間的状況は、パレスチナ人労働者を奮い立たせ、労働者達は組合を組織することを、或いは、全ゆる形の占領者との闘いに参加することを、様々な階級のなかで先鞭を通じて、戦闘的役割を担い、パレスチナ人民の正当な権利と労働者階級の利益を実現させるべく勇敢に闘っている。

一九六七年の、イスラエルによるウエストバンク、ガザ地域の占領の後、ウエストバンクに労働組合（GFTU—General

タルカレム、ジェニ、ベツレ
ヘム——公共機関労働者組合
ヘブロン——織物工組合、大工
労働者組合 などである。

しかし、シオニストイスラエル
に併合されて以降特異な状況下
にあったエルサレム地方では、アラ
ブ人労働者はヒズダラト（シオ
ニストの労働組合連合）以外の組
合に加盟することは禁止されてい

の迫害、テロと、労働者とシオニ
ストの会社、請負人との関係を正
常なものとするための法律がない
ためである。もう一つの理由は、
労働者の階級意識が脆弱なこと
である。大多數の労働者は自らの土
地から追われ、建設現場、大農場
レストラン、コーヒーショップな
どで働くを得なくなった人々
であり、パレスチナ人労働者階級

加えて労働者達は、様々な形で精神的にも肉体的にも極度に疲勞させられている。彼らの職場と住居は大變離れており、労働時間は一
日十二時間から十四時間にも及ぶ。又、全ゆる形の略奪、差別、強圧がヨルダン人支配のころからずっと続いている。

**体選挙で
組合代表が勝利**

政治的意識を高める活動や、文盲一掃など、GFTUは文化芸術文字でも様々な活動が行っている。被占領地におけるパレスチナ人労働者の闘いは、全ての勤労人民の利益のために、そしてシオニストの占領を打ち破りパレスチナ人民の正当な民族的権利を獲得するために、増々拡大し、前進しなければならない。今、ウエスタパンクとカザ地域でGFTUに可能な限りあらゆる具体的、精神的援助



恐れず正面对決

ウエストバンクのGFTUは一貫して労働者階級の労働条件改善のために闘ってきた。様々な成果があったが、これらはシオニストの搾取に対する保護が全く無い状態の、イスラエル内部で働く労働者のためにはなっていない。そのため、労働者と組合を結びつけるための委員会が職場で組織されている。この委員会には、同時に労働契約が意図に達した場合労働者を代表し、有給休暇や病休、年休二十一日の獲得、メーデーや三物価対策委員会」を結成し、この

月八日の国際婦人デーを有給の公休として認めさせることなど、労働者階級の権利のため先頭に立ち闘っている。

社会医療部門では、組合はいくつかの薬局や医者と契約し、組合員が安い費用で治療を受けられるようにしている。

GFTUは、シオニストの高物価、緊縮政策とも闘ってきた。ウエストバンクの地方自治体や商工会議所などとの協力の下に、「高物価対策委員会」を結成し、この

政策に反対して様々な闘いを行ってきた。この他ウエストバンク住民にかけられてきた付加価値税反対のデモにも参加したり、生活協同組合を組織するなどの闘いを行っている。

GFTUは、シオニストの占領と侵略と闘う被占領地大衆の全民族的闘いの一翼を担っている。中でも最近被占領地各地の大衆の決起では大きな役割を果たしている。このため多くの同志達が犠牲となった。GFTUは、六月五日

指名・種族的に競争に参加したとして彼ら全員が勝利したのである。これは、パレスチナ労働者級の闘いの歴史のなかでも新しい画期的なことであった。

GFTUがこうして愛國の闘いに大きな役割を果たしているためシオニスト占領当局は、労働組織を破壊すべく、様々な形でデモ弾圧をかけてきている。占領当局からイスラエル当局は組合に対する許許可証を更新する様々要求した。しかしGFTU執行部は

闘いにまにあう印
 タイプ、写植から製本ま
 へんまでも、予算も、御相
 (0425) 22-541
 人民新聞印刷部
 東京多摩支局

季刊 釜ヶ崎
 ☆一九七九越冬に向けて・
 別号再生産する・小柳伸顕☆
 殊夫☆釜ヶ崎に骨を埋める日
 崎形成史(Ⅰ)——釜ヶ崎と
 79・Ⅱ写真レポート(Ⅰ)
 A5版六〇ページ、三八〇
 発行・編集・季刊「釜ヶ崎
 二五十二三、釜ヶ崎解放会
 三、発行人・桶垣浩
 人民新聞社で取扱中。

嘯 一九八〇冬 1
 檀野傳之☆都市社会学は☆釜ヶ崎差
 日雇いの労働者一年生(上)・柴山
 ☆釜ヶ崎闘争史・稲垣浩☆釜ヶ
 ☆その周辺・平井正治☆釜ヶ崎・
 ☆中川繁夫、ほか
 四千円 二〇〇円
 編集部、大阪府西成区統之茶屋
 館内、電話〇六六四九・六四九

組合代表が勝利

GFTUの最も大きな成果の一つは一九七六年四月に行なわれたウエストバンクの地方自治体選挙ではが異した役割である。GFTUは民衆候補を支持しただけでなく組合の指導者達を候補として

印刷部
で相談
ま相談
129部

領當局は合法的なものではなく、むしろ許可証を発行する権利はない

の攻撃を加えてきたため、執部は止むなく当局に許可証の更新を要請。その結果当局の干渉をうける程度許可事になった。

また、当局は組合をヒスタドトを結びつけようとしてき

を行つことが緊急に要請されている。GFTUがエルサレムを含めて被占領地の全ゆるる都市、村に新たな支部を結成し、労働者階級の社会的、経済的向上に増々貢献するための援助が――。

闘いにまにあう印刷
 タイプ、写植から製本まで
 何んでも、予算も、御相談
 (0425) 22-5429
 人民新聞印刷部
 東京多摩支局

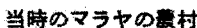
季刊 釜ヶ崎 一九八〇冬 1

☆一九七九越冬に向けて・植野信之☆都市社会学は釜ヶ崎差
を再生産する・小柳伸顕☆自雇の労働者一年生(上)・柴山
夫☆釜ヶ崎に骨を埋める日―釜ヶ崎闘争史・稲垣浩☆釜ヶ
崎成史(一)―釜ヶ崎とその周辺・平井正治☆釜ヶ崎・
・写真寫真ポート(一)・中川繁夫、ほか

A5版60ページ、三八〇円(送料二一〇円)

発行 編集 季刊「釜ヶ崎」編集部、大阪市西成区統之茶屋
一五二三、釜ヶ崎解放会館内、電話〇六(六四九)六四九
一。発行人 稲垣浩。

人民新聞社で取扱ひ中。



1

原作 ハン・スリーマン

著者のハンス・スラインは、オランダ人とベルギー人の混血の母親と中国人の父親との間に北京で生まれた。北京の大学を卒業し、その後ヨーロッパに渡ったが一九三八年に再び夫と共に中国に戻り、抗日戦争の節をとってつけられている。

四月十日 新い先生が到着した。やせた
 細核を運っておりいつも薬を飲んでい
 る。兄貴の由の持ち主だから所はよく通る。夜、
 我々が伴つて農園へ行った。荷馬車を燃やして
 のかわりにして竹藪道に勉強を教えた。二
 時に入がジャンケルのヒルについて不平を言
 した。私はラントリーの農園の争議団
 にフォン・キアップの家泊った。朝
 運ぶためにわれわれはわかれた。われ
 ら二、三の農園の食料収買員を警戒してい
 る。後になるまで全員何もすることがなかつ
 た。時に食事をしてから準備にとりかかった。

を、それをわがらない事が非常に大事なところか
ある。ジャングルに住むためには気にしな
とであり、ジャングルの中を衝の大通りを
ようにして歩くことだ。これこそが赤毛の
魔とともジャングルに入ってくるのを恐れる
にである。やつらは絡み合ったつたを嫌
警戒して、落合う場所をかえた。そこで
とけてくれた人といひ、仕事を始めた。
常に楽しそうだった。あまり荷物があつた
われわれは別れて手助けた。結局われ
二十人ほどになった。若い労働者たちは
運送のが大変うれしくて、グループでわ

昔の様な毛虫や、皮膚の下に潜り込んで繁
 るる害をこわしている。いったんジャンク
 をこわがり出したら長くいることは不可能だ
 四月二十八日 竹園町の祭りであるメー
 だ。夜、歌をうたい、子供ころの話をし
 だったので、われわれは一回にわけて運
 ればならなかった。途中で争議団の同志
 われわれを助けにきてくれた。スモール
 ウッドがアー・カイの奥さんと食事を作っ
 モール・クラウドはいつも陽気だ、い

五月十五日　メンという名の事切
ラントリー農園で処刑した。首はナワを
ぶまの木に吊るし、棍棒で打ちめした
後で太ちや犬のツォウがその男の遺体
者たにに見てまわつた。男の事切り行
々口に見せられてゐる。

形態は、國內に九つの州があつてそれぞれが持り、この藩王の互選で国王が決めらるゝとして藩王のもとに州政府、中央に連邦がある。この小説の舞台となつてゐるシヨ

五月三十日 同志センが帰つてき
しい指令だ。「われわれの目標をもつ
れ。人民に敵対したりおどかしたりするな
るところで、どこでも人民を教育せよ。ま
にきつてゐる機關經營者たけをつま

友達になり彼らの情仰に敏感に感應を示す
いうものだ。

同志センは新しく入ってきた仲間につ
ね、アー・ラムをスモール・クラウドと言
た。今日はアー・ラムの誕生日だ。彼は
才になった組織に入ってから八年にな



觀地の外にいた一年間を除いて彼はその國を
 と解放區のなかで暮してきた。私は彼
 新品の日記帳をやった。夕方は洗濯、武
 入れ、そして日本の鬼が支配していた書
 について話した。